

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和3年 6月23日 (宛先) 岡 崎 市 長 提出者 トヨタL&F中部 株式会社 住 所 愛知県名古屋市昭和区高辻町6-8 氏 名 代表取締役社長 長谷 武 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-882-6461 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	トヨタL&F中部(株) 物流システム部三河営業所
事業場の所在地	愛知県岡崎市大平町字榎田27番
計画期間	令和3年度(令和3年4月1日~令和4年3月31日)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	89:自動車整備業
② 事業の規模	元請完成工事高:86,400万円
③ 従業員数	18人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(建築物解体) がれき類→再生処理業者委託→破碎→再生砕石として再資源化 混合廃棄物→破碎、選別後→代替燃料として再資源化 木くず→破碎→バイオマス燃料化並びに製紙原料として再資源化 汚泥→脱水、混錬、分級→埋立処分 廃プラスチック→破碎選別→資材原料→再生工場で再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 環境統括者<<代表者>> ↓ 環境副統括者処理統括者<<代表者の副>> ↓ 環境保全責任者<<環境活動並びに法令順守等における責任者>> ↓ CSR推進部<<環境活動並びに法令順守等における統括部署 マニフェスト管理など>> ↓ 各拠点<<部署環境保全責任者 各所長>>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再資源化業者との契約書締結による廃棄物の再資源化。 ・納入業者による梱包資材の引取り並びに簡易包装による廃棄物発生抑制。 ・適格な発注数量管理による余剰材削減による廃棄物発生抑制。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記取組の継続と下記取組の実施 ・作業場において協力業者並びに新規入場業者への更なる産業廃棄物の排出抑制並びに分別に関する周知徹底を図る。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）廃プラ混合廃棄物、木くずの分別保管。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記分別の徹底。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> 委託契約前に処理業者の現地確認並びに許可条件、処理能力再生利用状況を確認し委託契約の締結を実施。 適正処理状況確認をマニフェストで確認を実施。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記、現状で実施していた取組の継続を実施。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

①令和2年度 産業廃棄物の排出抑制並びに処理の委託に関する事項（現状）

廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラ	混合廃棄物	木くず
全処理委託量	1436.32t	0.418t	1.05t	33.447t	0.55t
優良認定業者への 処理委託量	0t	0t	0t	33.447t	0.55t
再生利用業者への 処理委託量	1436.32t	0.418t	1.05t	33.447t	0.55t
認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t

②令和3年度 産業廃棄物の排出抑制並びに処理の委託に関する事項（計画）

廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラ	混合廃棄物	木くず
全処理委託量	1200t	0.33t	0.84t	26.8t	0.45t
優良認定業者への 処理委託量	0t	0t	0t	26.8t	0.45t
再生利用業者への 処理委託量	1200t	0.33t	0.84t	26.8t	0.45t
認定熱回収業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t